

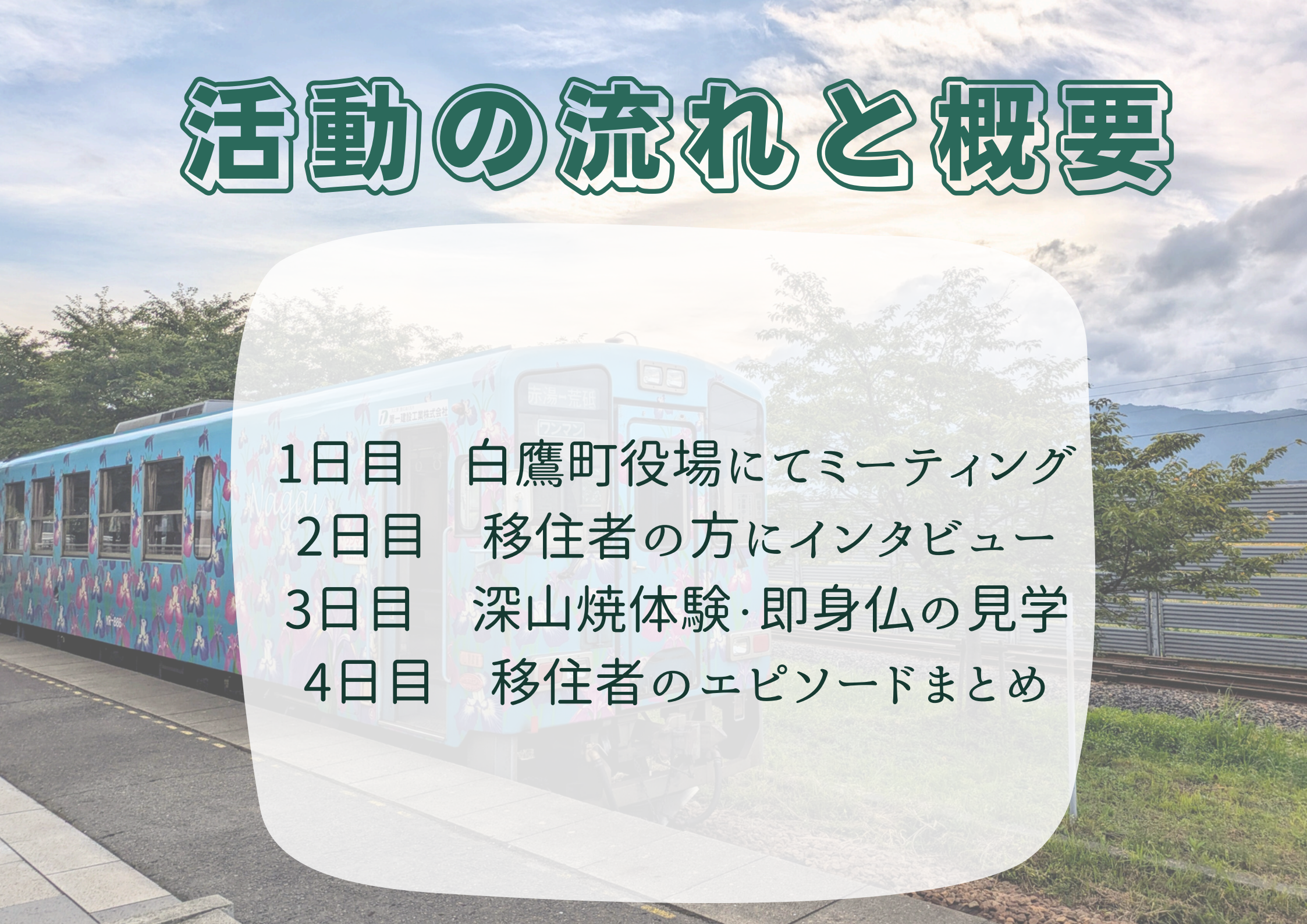
白鷹町 スタジオツアー報告会

大内祐佳 古木愛菜 渡部杏 鴨志田唯 岡野美菜 宮城諒平

目次

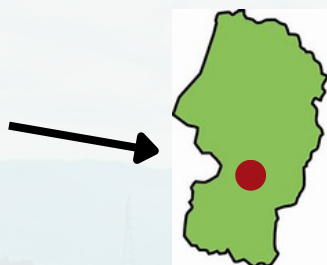
- ・ 白鷹町について
- ・ 活動の流れと概要
- ・ 今回製作した成果物
- ・ 白鷹町の抱える課題
- ・ 提言と方策
- ・ 自分たちができること

活動の流れと概要

- 
- 1日目 白鷹町役場にてミーティング
 - 2日目 移住者の方にインタビュー
 - 3日目 深山焼体験・即身仏の見学
 - 4日目 移住者のエピソードまとめ

白鷹町 について

しらたかまち



人口…1万2000人

面積…約160km²

林野率…65%

紅花生産が日本一

春はサクラ
夏はベニバナ
秋は鮎
冬は隠れ蕎麦
の里



人口は年々減少
しています…

が、

とても住みやすく
子供を育てるにも
最高の町！



深山焼について

深山焼とは？

→山形県白鷹町深山には江戸時代後期まで稼働していた焼き窯の跡がありました。昭和40年代に梅村正芳さんがこの焼き物を復活させようと当時の原料産地などを研究し、焼き物生産が復活しました。古い窯をモデルに新しい登り窯を生産し、現在では全国的に貴重な窯となっています。



←見学させていただいた焼き窯

この窯で焼き物を作ると四日かかり写真の量ほどの薪を一度に消費してしまうため燃費が悪く、現在は電気窯が主流となっている



深山焼について



即身仏について

即身仏とは「即身成仏」という仏教の教えに基づくものである。存命のうちにこの体と命をもって、木食行という修行を行い、修行が進むと絶食したのち餓死寸前で生きたまま土中に埋めた棺に入る。亡くなった遺体は三年ほどで発掘する。ミイラとは別物である。

山形県には即身仏が七体ある。

そのうちの一体、出家していない方が即身仏とされた貴重な一体がここ白鷹町蔵高院に。

光明海さんについて

当時、大飢饉がおこっていた白鷹町。そこで光明海さんは即身仏修行を始めた。大火で記録が消失してしまったため、光明海さんについての情報は言い伝えが主であり、獵師であり足が丈夫であったこと等の話が残る。

町おこしの一環で発掘が決まった。

住職さんのお話

「法灯明 自灯明」の教えを考える

「同悲同苦」を大切に

生活の在り方を見つめ直す

行政は人の生活を握っている

昔からの教え、文化、私たちは今後どうすべきか





日本最古の鉄橋

荒砥鉄橋(最上川橋梁)

- ・最上川の上を流れる荒砥鉄橋は、1887年にイギリスの建築士によって建設された
- ・日本最古の鉄橋であり、桜と鉄橋の景色を求めて多くの人が訪れる



パレス松風

- ・温泉、ゴルフ、キャンプ、卓球などの様々なアクティビティを楽しむことができる施設
- ・白鷹町への移住者の1人、平野さんのお勤め先でもある



鮎茶屋

- ・最上川の川沿いに設置された日本最大級の観光ヤナ場を擁する道の駅
- ・毎年9月にはしらたか鮎まつりが鮎茶屋にて開催される



白鷹温泉

白鷹荘

白鷹温泉





豪華な手料理！



趣のあるインテリア

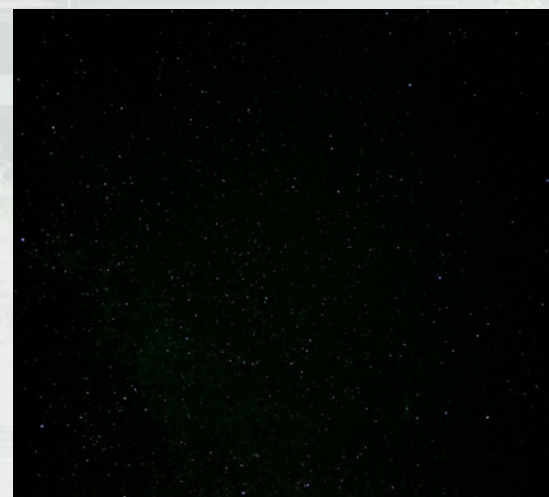


みんなでお餅つき



周囲には豊かな自然が

新保さん



白鷹荘の屋上から✧

移住者の方との交流



菅原 大夢 さん



平野 道代 さん



貴田 洋介 さん



中尾 仁/真紀 さん

菅原 大夢 さん

Uターンで、人と仕事と山河をむすぶ



白鷹町地域おこし協力隊
しらたかマルチワーク事業協同組合「たかマル」事務局長

- ・ 「たかマル」 季節や時間ごとに仕事内容や場所が変化
- ・ 雪や田園などに囲まれて働き生活できる、都会にはない魅力を再発見

平野 道代 さん

白鷹で毎日を楽しむ！



千葉から移住

鷹野湯温泉パレス松風のフロント勤務

白鷹在住の友人を訪れていたことがきっかけに

- ・ 白鷹の人の良さ、四季折々の景色、食
- ・ 山岳部、天蚕の会などの活動を楽しむ
(コミュニティの大切さ)
- ・ 失敗を恐れずチャレンジして、毎日を笑顔で

貴田 洋介 さん

ブドウで広がる夢



神奈川から移住

地域おこし協力隊参加

その後、町のブドウ農家の下で独立の準備中

- ・ぶどう園の土地を受け継ぎ、生食用栽培ブドウ
- ・猟友会や地域のイベントに参加
- ・ちょうどよい田舎感（車があれば生活に困ることはない）
- ・新米のおいしさに感動

中尾 仁/真紀 さん

豊かな暮らしをもとめて



東京から移住 白鷹移住体験ツアーに参加

- ・ 食（雑穀など）、暮らしを大切に
- ・ 自分たちに合った理想的な物件（庭付き）
- ・ 自然（山、雪、湧き水、食）
- ・ 地域のひととのつながり
- ・ 町の職員の方の親身な対応

外大生が
聞いた！

白鷹町 移住の魅力





中尾さんご夫婦
田舎の暮らしを求めて
東京から移住



平野道代さん
パレス松風で勤務
千葉から移住



白鷹に移住された方

方にインタビュー



菅原大夢さん
地域おこし協力隊
しらたかマルチワーク事
業協同組合事務局長



貴田洋介さん
農業に挑戦するため移住
現在は独立を目指して農
家で修行中



たかマルポイント 02 四季を楽しみながら 仕事をする

マルチワークでは、「春はお米、夏はトマト、秋はりんご農家、冬は製造業」と、季節ごとに内容や場所が変化していく働き方が可能です。さらに、一週間の中で、「月・火は農業、水・木・金は製造業」というように変化するケースもあります。

たかマルは、地域の仕事とはたらく機会をむすび、移住者のキャリアアップをサポートします。

たかマルポイント 03 移住を考えている方へ

一度外に出て、自分の育った地元の見え方が変わりました。

青い空と白い雪が織りなすコントラストや、広大な田園、そうした景色を眺めながら仕事ができる環境など、都会では得られない魅力が計り知れないほど見つかりました。



白鷹で、
たかマル。



菅原 大夢 さん

たかマルポイント 01 Uターンで、人と仕事と山河をむすぶ

白鷹町出身で、コロナをきっかけに地元でUターンした菅原さん。現在は、白鷹町地域おこし協力隊として活動中です。

地方での暮らし方や働き方がどんどん変化していく中で、地域を盛り上げるためのイベントを随時模索しています。

さらに、しらたかマルチワーク事業協同組合「たかマル」の事務局長を兼務しています。マルチワークは、1つの仕事ではなく、同時に複数の仕事に携わる働く方で、季節や時間ごとに仕事内容や場所が変化していきます。

「地域を元気に、新しい挑戦を応援しながら一緒に気持ちを高めて進んでいく（＝高まる・たかマル）」という、たかマルの理念の下、地域を盛り上げようと日々活動しています。

Shirataka Life 02

理想郷、白鷹町

都会で感じた人々の忙しなさや街の喧騒から離れたのどかな街、白鷹町での暮らしはまさに理想郷だと感じています。家の庭には畑を持ち、憧れていた本格的な家庭菜園を始めることができた中尾さんご夫婦は、「自分たちで消費するものは自分たちの手で作る。」という考えのもと日々農作業に励んでいます。地元の方々との繋がりも増え移住して間もない頃の不安はすぐに安心に変わったそうです。これからも人との縁を大切に白鷹ライフを満喫します。



shirataka Life 03

移住を考えている方へ

ここ白鷹には温かい人、美味しい食材、のどかな町が広がっています。タイミングと縁を大切に勇気ある一步を踏み出してみてください。



豊かな暮らしを求めて



中尾 仁/真紀 さん

Shirataka Life 01 白鷹移住のきっかけ

今年の夏に東京から白鷹町へ移住された中尾さんご夫妻。以前から自力の生活に憧れを抱いていたお二人は、新しい生活のカタチを探る中で白鷹町に出会ったそう。なかでも白鷹町移住の決め手は理想の家が見つかったこと。地方での理想に叶う物件探しは大変だそう。そんななか地域の方から現在のご自宅を紹介されたのだそうです。また移住の手続きをする際にも自治体の職員さんが親身に対応してくれ、仕事上だけでない人間同士の人付き合いに魅力を感じたとおっしゃっていました。お住まいの地区は住民同士の結びつきが強いと言われている白鷹町の中でも特に住民の結束が強いと言われている地域。常に隣の住人さんが気にかけてくれ、同じ地区の人でパーティーを開いたり旅行に行くこともあったそうです。現在のご自宅の整備を進めるお二人。草刈りなどの作業は大変なもの、満足感も感じるのだとか。前々から興味抱いていた雑穀もご自宅で育ててみたいのだそうです。



Michiyo's Point 02 白鷹町の魅力とは

白鷹町の良いところは、困っている人を見捨てない人の好さと、景色の良さ、そして作り手の分かる美味しいものが食べられるところです。日々の仕事に加え、山岳部や天蚕の会など町の多くのコミュニティに参加し、毎日様々なところへ出かけています。この町の中で私が一番白鷹を楽しみ、その魅力を体現しているという自負があります（笑）。

←平野さんが働くパレス松風から見下ろす白鷹の景色

Michiyo's Point 03 移住を考えている方へ

移住することを重荷に感じず、レクの延長上の感じで躊躇せずやってみるといいかもしれないですね。どんどんいろんなことに挑戦してダメだったらやめる、たとえ失敗をしても今度は考え方を变えてチャレンジしてみる。自分がやれることから始めましょう。毎日を笑顔で過ごすことが一番大事です。



毎日がたのしい！

平野 道代さん

Michiyo's Point 01 移住して実際どう感じているか

初めにこの町に移住した経緯をお話すると、白鷹に在住している友達がいって、その人から白鷹町の魅力をよく聞いていたんです。2017年頃から白鷹に遊びに来ることが増え、白鷹町の様々な一面を見ることが出来るようになりました。元々移住することを考えていたこともあり、白鷹の四季折々の景色をこれからも間近で見たいと強く思い移住を決意しました。

パレス松風でフロントの仕事をしているのですが、移住者として町の人に顔を覚えてもらえるきっかけになっているので嬉しいです。昔から町に住んでいる人達にとって当たり前のことがすべて楽しくて、やりたいことがたくさんあるんです。休みが足りないほどで困ります（笑）また、大切なパレス松風を働き先として検討してもらえそうな魅力ある施設にしたいという思いも強まっていますね。



Agriculture 02

ちょうどよい田舎感

白鷹町の良いところとしてはこう言うは何ですけれどちょうどよい田舎感ですかね。山形市や仙台市にもアクセスは良く、車があれば生活に困ることはありません。不便過ぎない場所というのも魅力かもしれないです。都市の便利さはなくても住めば都という感じで慣れてきますね。また、白鷹町はコメが美味しく、こっちで食べた新米の味には本当に驚きました。逆に悪い点としては、電車・バスなどの公共機関がないので車がないと不便なことですかね、でもそれくらいしか困ることはないです。

Agriculture 03

移住を考えている方へ

「住めば都」ではあると思いますが、白鷹町はちょうど良い田舎感が魅力です。人付き合いを大切にすると、空き家の情報なども得ることができるため大切だと思います。移住を考えている方はまずは公共機関の窓口で相談してみるのが手だと思います。



ブドウで広がる夢

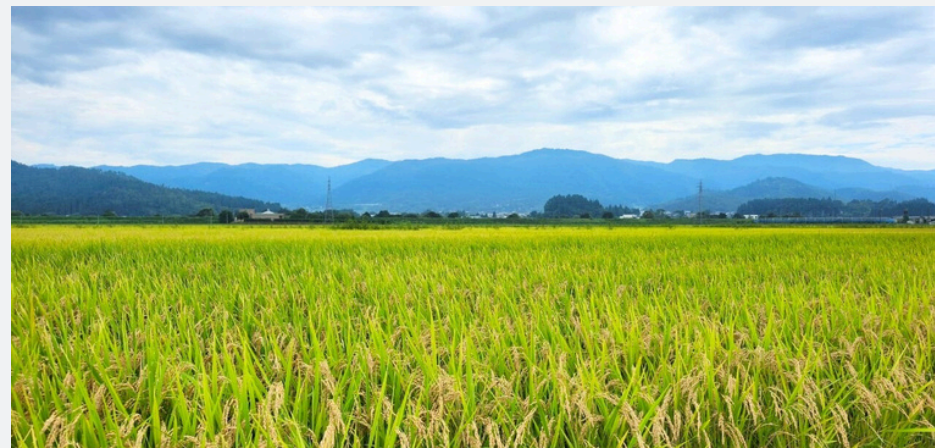
貴田 洋介さん

Agriculture 01

白鷹への移住から新規就農まで

私は4年前、神奈川から移住して白鷹で就農を志しました。はじめは東京で開催された新農業人フェアに参加し、白鷹町での就農、特にぶどう栽培に興味を持ち応募することに決めました。

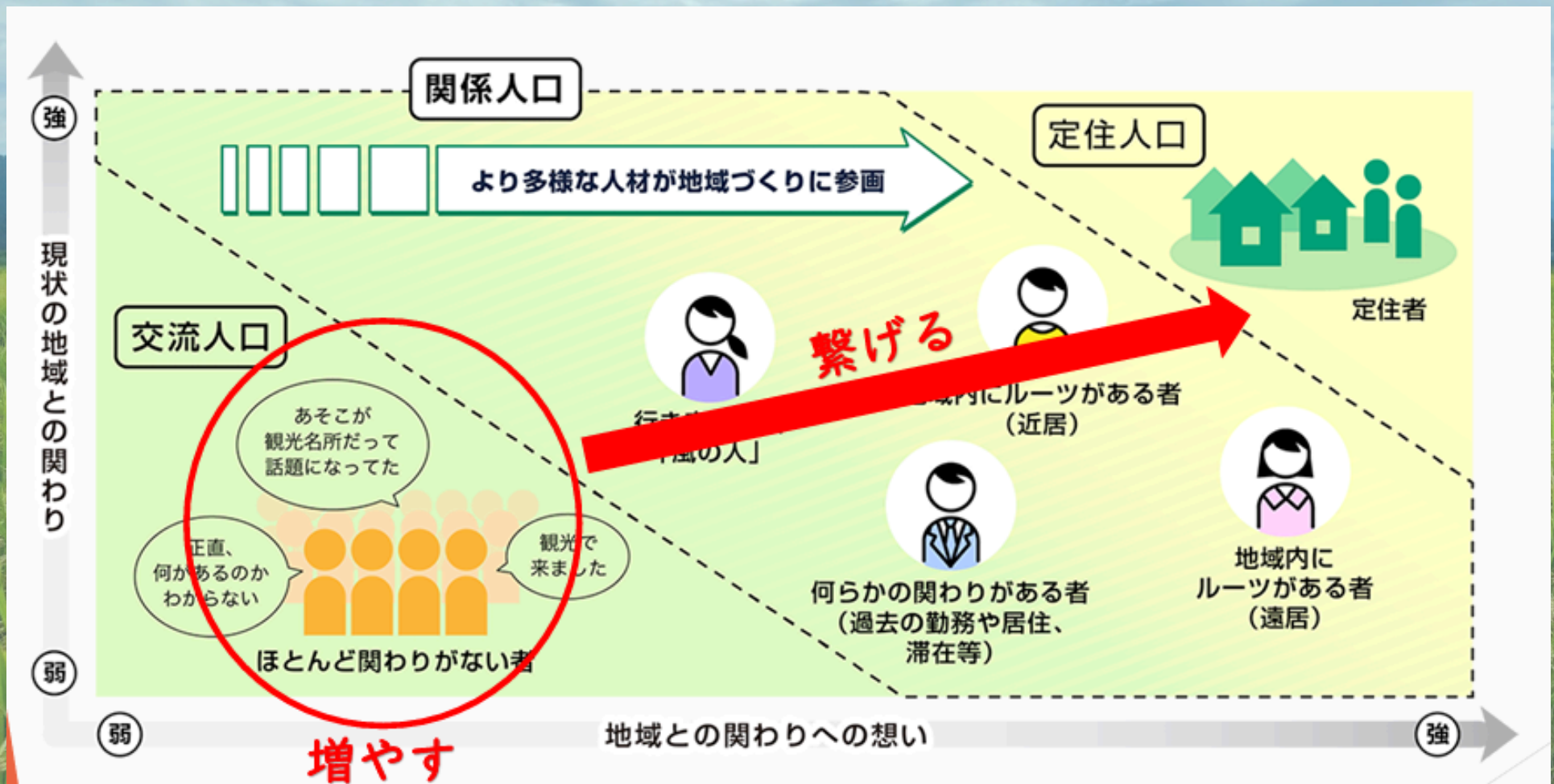
そして、白鷹町の地域おこし協力隊として活動し始め、町の新規就農者育成支援事業のサポートを受けて実際の町のぶどう農家のもとで最大2年の就農準備を行い、ついに来年から自らのぶどう農園をもって農業を本格的にスタートさせる予定です。新型コロナの影響もありましたが、その間も地域の食事をふるまうイベントに参加したり、猟友会に所属し狩猟の資格をとるなど、白鷹の生活に段々と慣れていくことができましたと思います。



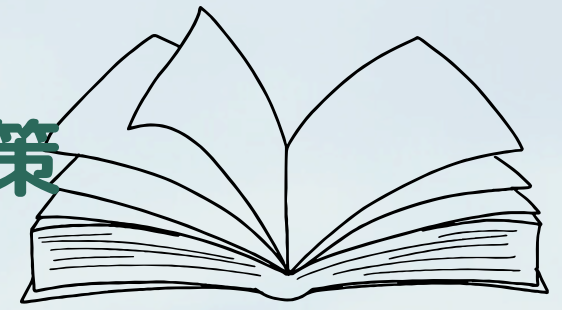
あいべ 白鷹町



「日本の紅をつくる町」 白鷹町の抱える課題



課題解決方法と具体的な方策



1 交流人口を増やすには？

① SNSを活用した発信 by 町役場アカウント

→ 発信する媒体・場所を広げる

→ 若者に魅力発信

- ・ 温泉やスキー + 即身仏など

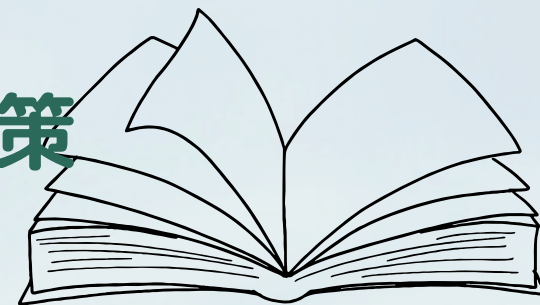
- ・ 京都などの有名観光地にはない魅力

(雄大な自然と穏やかな空間、独自の食文化)

- ・ おすすめスポット (観光の参考)

課題解決方法と具体的な方策

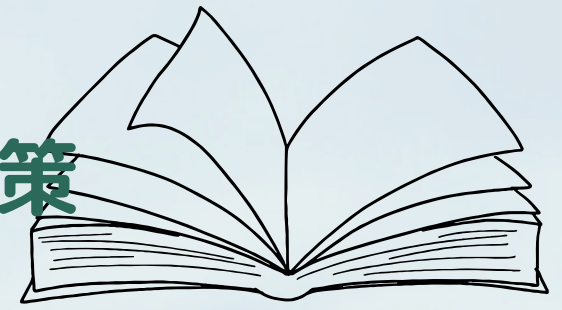
SNS発信の具体例



ほっと、
ひといき
しらたか



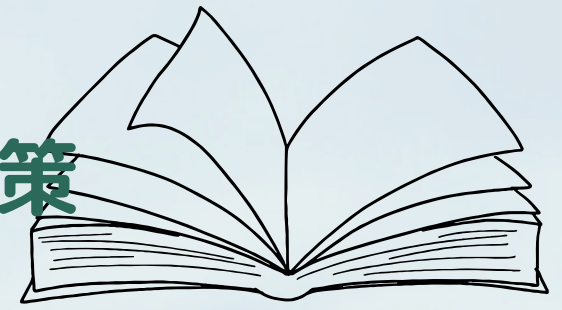
課題解決方法と具体的な方策



SNS発信の具体例



課題解決方法と具体的な方策



1 交流人口を増やすには？

② 白鷹若鮎マラソン大会の発展

白鷹の強み→自然豊かな景観、美味しい果物、
高低差の激しい地形



町内の名所を巡る長距離マラソンを実施:各休憩地点ではランナー
に白鷹産の果物を振る舞う

前例:榛名湖マラソン、メドックマラソン（フランス）

課題解決方法と具体的な方策

2 定住人口を増やすには？

①人とのつながり、白鷹の人のあたたかさを伝える

→移住者相談会

白鷹町への移住者からの話を聞く

SNS発信（直接定住人口に情報を届けられる）



課題解決方法と具体的な方策

2 定住人口を増やすには？

②若い世代が白鷹の魅力を発信

→内から気づけないような魅力

→@地元の高校での授業や自由研究



わたしたちができること

- ・ まずは自分達のSNSで白鷹の事を発信してみる 📱
 - ・ 友人・家族など周りの人に魅力を伝えてみる！ 🗣️
 - ・ 自分が交流人口の一員になってみる！ 🚄
 - ・ 日本に興味のある留学生を連れて再度訪れてみる！ 🧳
 - ・ 外大生に向けた発信！ポスター展示！ 📖
- ↑ @アゴラ、ガレリア(一目が付くところ)

ご清聴
ありがとうございました

